



甲州市立祝小学校

《食に関する指導の目標》

- ① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 (食事の重要性)
- ② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。 (心身の健康)
- ③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。 (食品を選択する能力)
- ④ 食物を大事にし、食物の生産などにかかわる人々へ感謝する心をもつ。 (感謝の心)
- ⑤ 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。 (社会性)
- ⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。 (食文化)

《取組の様子》

～ 生活科・社会科・理科・総合的な学習の時間での食物栽培 ～

1年生は、生活科の授業でポップコーン用のとうもろこしを栽培しました。毎日水やりをして大切に育て、たくさんのとうもろこしを収穫しました。収穫したとうもろこしを乾燥させてから、ポップコーンにしてみんなで食べました。パンパンと音をたてながらポップコーンになるのを見て、大歓声を上げました。

2年生は、生活科の授業でいろいろな野菜を一人一つ育てました。きゅうり、ミニトマト、スイカ、ブロッコリー、とうもろこし、なすなどが大きくなる様子に驚き、その様子を詳しく観察しました。大きく育った野菜を収穫し、みんなで喜び合いました。収穫した野菜は家族で会話を楽しみながら、おいしく食べました。

3年生は、総合的な学習の時間「祝地区のぶどうづくりを知ろう」の授業で、ぶどうづくりについて課題を設定し、グループごとに生産者の方に聞き取り調査を行いました。学校敷地内のぶどう園で甲州種とマスカット・ベリーA種を地域の方の支援・指導を受け、栽培しました。かさかけ、草取り、収穫などの体験をしました。収穫したぶどうは、給食の時間に全校児童でおいしくいただきました。今年は、ジュースづくりやゼリーづくりにも挑戦しました。

5年生は、社会科の授業で、学校敷地内の水田で稲の栽培を行いました。米を育てるといふことの難しさや八十八の手間を学びながら大切に育てていきました。秋には収穫・精米をし、家庭科の授業でおいしくいただきました。

また、市の栄養士さん、食育担当の方、祝地区の食生活改善委員さんなど専門的な講師の方にご指導をいただき、料理教室を実施しました。料理教室を通して、塩山式手ばかりを使って、自分の体格に合ったご飯の目安量について学んだり、よく噛むメニューを取り入れたお弁当作りを体験したりしました。食への関心を高めることができました。

6年生は、学校農園でジャガイモを栽培しました。家庭科の学習で、収穫したジャガイモを使ったおかずを作りました。ハッシュドポテト、じゃがバター、ポテトサラダ、ポテトオムレツ、ジャーマンポテトなど各班工夫して作り、新ジャガの味を楽しみました。

ひまわり学級でも栽培活動をたくさんしました。ポップコーン用のとうもろこし、スイカ、きゅうり、なす、メロン、トマト、ピーマン、とうもろこしの栽培をしました。収穫した野菜は家族で楽しく食べました。ポップコーンは、全校のお友達にお手紙をつけてプレゼントしました。



給食の時間を食に関する知識を増やす時間として位置付け、給食の献立発表で赤・黄・緑のバランスのよい食事や旬の食材について学んでいます。また、献立に位置付けられた「よく噛んで食べる献立の日」に噛むことの大切さを確認するとともに実践しています。低学年では、「食育かるた」に取り組み、楽しく食に関する知識を増やしたり、「わたしたちの食育ノート」を適宜活用し、みんなで楽しく食事をするためのマナーについて学んだりもしています。学校栄養職員と連携して、「食育 teacher's note」を活用し、「げんきなからだをつくらう」等の授業実践も行いました。

今年度も学校教育全般にわたって、食育を実践してきました。これからも、体験学習を大切にしながら、食育を進めていきたいと考えます。

